

2025年度

二チキッズわかみや保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2026年1月20日（火）～1月31日（土）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2026年2月10日（火）
	実施方法	事前に各自評価してもらい、その後話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	園内に理念・目標を掲示。子どもたちが安全・安心して過ごし、活動を存分に楽しめる内容を計画、実施した。HPや玄関掲示などを通して保護者や地域の方に周知を図った。
子どもの発達援助	心身の健やかな発達を促せるよう、一人一人の発達過程や家庭の状況を考慮し、スタッフ間で共有・連携しながら保育を行った。食育活動に力を入れ、体験型の活動を多く取り入れた。
保護者に対する支援	保育参加・運動会・お遊戯会と年3回の親子参加型の行事を実施。そのほか園での様子を記載した面談シートを作成して定期的に配布。保護者の悩みや思いを聞き取る機会を設けた。
保育を支える組織的基盤	月2回の園内研修を実施。そのほか社内研修やキャリアアップ研修にも参加。研修内容についても社内での取り組みにプラスして「町中の危険な植物や虫」「雪の季節の避難」など身近な内容も取り入れて実施した。

総評
園のテーマとして「育てる・食べる・染める」を掲げ、主に食育活動に力を入れた1年となった。活動に集中するため、週日案の曜日の活動を固定し、その他の行事については追記していくことで計画立案の効率化を図った。感触遊びと保健安全活動については、さらに内容を深め、質の向上を目指す必要がある。地域交流については、連携園との交流会のほか、系列園である青い森保育園園児との交流も深めることができたので、今後も継続していきたい。保護者支援については、年3回の親子行事の他に面談シートを作成して園での様子を伝えたり、要望や悩みを聞き取る機会を多く作った。10月より稼働率が94%をこえ、人員不足により他園から業務支援を受けながら業務を行っていたことで、地域への周知活動が不足してしまった。次年度園児入園に向けて周知活動を強化していく必要がある。